

玄関の水蓮が咲いています 日中だけ開き、夜には花を閉じます

清元院だより

第1号

「清元院だより」を創刊いたしました。

お寺は住職だけのものではありません、檀信徒のみなさんと共に創っていくののだと思います。

このおたよりで、お寺の活動を発信するだけでなく、紙面を通して檀信徒のみなさんの活動や思いが交流できる場になればと願っています。

「生きることを楽しむお寺」「人が集まるお寺」をめざして、ぼちぼちとおたよりを書いてまいりますのでよろしくお願い致します。

大梁山清元院 住職 井上英之 九拝

● 誌上法話

● 新役員紹介

● 棚経(たなぎょう)日程

● お盆の作法

● おてらニュース

● 花まつり

● 大般若法要

● 本山参拝研修

発行人…曹洞宗大梁山清元院

住職 井上英之

佛歴2558年 平成27年8月2日

表紙:清元院に咲く花①

「熱帯スイレン」

開花場所:玄関右側

話 法 上 誌

お盆（盂蘭盆会）が近づいてきました。
清元院の宗旨「曹洞宗」では「**供養**」を
どのように考えているのでしょうか？
さる6月2日に各務素弘特派布教師さまに
お話を伺いました。

~~~~~

供養とは、「**善き生き方を、亡き方にお供えすること**」。もちろん、毎日

仏壇に手を合わせ、水をかえ、炊きたてのご飯や亡き方が好きだった食べ物をお供えするのも立派な供養です。毎日お経をあげられる方もあるでしょう。

しかしその中で、亡き方（ご先祖）が最も喜ばれるのは、毎日手を合わせ、お供えし、お経を唱えようというその心、即ちその生き方なのです。自分の生き方が教えに照らされた善き生き方なのかどうかは、自分が一番よくわかっているはずですね。

善き生き方のチェック項目は・・・

- ① 自分の幸せのために、何かを傷つけていないか？
- ② 「食<sup>とく</sup>むさぼり」「貧<sup>ひん</sup>分<sup>ぶん</sup>ち合う」どちらの生き方をしているか？
- ③ 「慈悲」の心を他に向けているか？誰もが生まれながらにして他を思いやる心をもっている。

とはいうものの、悪いことをしたことがない人はいないかも…。私ももちろんそうです。それでも、善く生きたいと願い、善く生きようとすることはできるはず。

今、この時を生きている私たちが、善き生き方をすることが一番の供養になるのです。

**「供養とは、善く生きようと努力する、その我が生き方をお供えすること」**なのです。



## 【護持会新役員紹介】

6月6日（土）に開かれた護持会臨時役員会で新役員さんが決定しました。任期は原則4年（H30まで）です。

長きにわたり、おつとめいただいた会長の村上孝之さん、副会長の生田昇さん、お寺のためにご尽力いただき、大変ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

| 常任委員                                                      |              | 部落役員 |              |             |               |
|-----------------------------------------------------------|--------------|------|--------------|-------------|---------------|
| 会長                                                        | 小椋幸雄         | 竹内   | 石賀 榮<br>小川正則 | 国実          | 川上和則<br>川上喜八朗 |
| 副会長                                                       | 前田 勉<br>高力正弘 | 金屋   | 中本 敏<br>谷本 晃 | 大父          | 前田 勉<br>河上 操  |
| 会計                                                        | 川上和則         | 宮木   | 入江重雄<br>入江龍平 | 山川          | 高力昭二<br>大口 巧  |
| 監査                                                        | 河上 操<br>入江龍平 | 大熊   | 高力博文<br>高力博秋 | 平田平<br>大父木地 | 入江美喜雄<br>小椋幸雄 |
|                                                           |              |      |              | 山川木地        | 小椋久義          |
| 顧問                                                        |              |      |              |             |               |
| 中井恭子、村上孝之、谷口 正、高力正弘、高力 朗、川上洋平<br>川上 勲、川上定利、小椋凱夫、小椋善暢、那須輝男 |              |      |              |             |               |



|       |                   |
|-------|-------------------|
| 8月9日  | ① 大父 →②平田平 →③大父木地 |
| 8月10日 | ① 山川 →②岸ノ下 →③山川木地 |
| 8月11日 | ① 国実 →②大熊         |
| 8月12日 | ①金屋 →②竹内          |
| 8月13日 | ①宮木 →②地区外（赤碕、東伯）  |

※北栄・倉吉・米子は別途連絡します。

※午前7時から回ります。午前中で終わる予定です。

## 平成二八年の 棚経

もうすぐお盆  
の棚経（たな  
ぎょう）です。

住職による全ての檀信徒の仏壇へのお参りです。

いつも親切に迎えてくださりありがとうございます。

私も棚経をまわらせて頂き28年目になりました。

檀信徒のみなさんと懇親できる有意義な時間です。今から楽しみにしております。

### 【お願い】

☑ 仏壇の正面の縁側（おもて）を開けておいてください。

（閉まっている時は外から拝みま

す）  
☑ 仏壇を清浄にして花を飾り、お供えをしましょう。

☑ 読経中はテレビを消し、一緒に手を合わせましょう。

※短時間で失礼しますが、相談事やお困り事があれば遠慮なく声をかけてくださいね。

### 【8月】

◇六日：一〇三〇〇 施食法要お参り（経木塔婆配布）

◇九～十三日：棚経

◇十三日までに…

・お墓・お寺の位牌堂のそうじをして準備します。

・仏壇の前に盆棚を作りご先祖を飾ります。

（※お盆のしおり参照）

◇十三日～十五日

・墓、お寺参り…

お墓と同じように位牌堂にもお参りします。

※お寺参りの際は、棚経のお礼として「盆礼」

（千円程度）をお寺にもつていきます。

・夜七時より「夜施食」

（※自由にお参りください。すべてのお檀家の

先祖供養と初盆供養をします。）

◇十三日夕方：迎え火

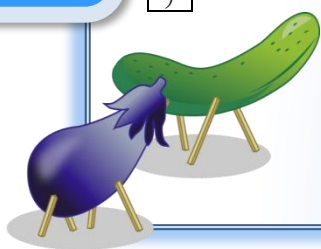
◇十四日：一四〇〇〇 初盆合同供養法要

◇十五日：一一〇〇〇 戦没者慰霊祭

◇十五日深夜または十六日早朝：送り火

※経木塔婆と一緒に焚きます

## お盆の作法





花見堂のお釈迦様



恒例の園児の献花

4月30日(木)。お釈迦様ご誕生を祝う恒例行事「花まつり」をお勤め。以西保育園児(園児15名、先生5名)と梅花講員さん、宮木部落の方々と楽しくお勤めしました。「御釈迦さまの誕生パーティー」と銘打ち、子ども達持参の花を献花し、献香献灯と共に園児がお供えしました。全員がお釈迦様に甘茶をおかけしたのち、ご誕生の紙芝居、「天上天下唯我独尊」のポーズや手袋シアター。最後は甘茶を飲んでお別れしました。来年は船上小でも花まつりが復活できるように交渉中です。



大般若経の転読



無病息災を願って肩をたたきます

て頂きました。(※写真はH26のもの) 役員・梅花講のみなさんに参加いただき、家内安全、諸願成就、鎮防火燭などを「秋葉さん(秋葉三沢坊大権現)」にお願いし祈禱しました。  
来年から毎年3月第2日曜に行うこととし、どなたでもご参加いただけるようにしたいと思います。

4月6日(月)。恒例の大般若法要を執り行い、赤碕・中山の10ヶ寺の方々が集合して、「大般若経」200巻を転読し

## おてらニュース

### ●鳥取県本山参拝研修第2班



### ●大本山總持寺に5名参拝！



以前、全ての檀信徒のみなさんにお配りした通り、7月28(火)・29(水)に2泊3日の鳥取県宗務所主催の曹洞宗大本山總持寺参拝研修が行われ鳥取県で約200名、第2班は約100名、うち清元院からは私を含め6名もの参加でした。(多い方から3番目！)  
横浜鶴見の總持寺は、我が曹洞宗が日本最大の宗派となった布教の根本道場です。(曹洞宗には永平寺と總持寺の2つの本山があり、毎年交代で本山研修が実施されます)  
1日目は開講式、研修、薬石(夕食)、2日目は4時起床、日本最大の本堂である大祖堂(なんと千畳！)で2時間の朝のお勤め、朝食(粥)、閉講式。  
高力美智恵さんは、何と15回目の参加で表彰を受けられました。高力昭子さんは7回目。高力幸吉さんと鳥飼京子さん、足立陽子さんは初参加。皆さん良い笑顔で過ごされました。

#### 【●高力美智恵さん】

七月二十八日より本山研修に参加させて頂きました。今回は、大本山總持寺二祖峨山韶碩禪師の六百五十回忌大遠忌報恩参拝の年でありましたので、開講式にて十五回参加の表彰を受け大変感謝しております。毎年参加させて頂くことで、沢山の方々とのご縁があり、笑顔で健康に毎日過ごさせて頂けております。本当に感謝しております。法話は毎回とてもよいお話で、今回は『よろこばれる生き方「命」。一人一人が「幸せ」に生きることがよろこばれる生き方。』などとても元気をいただきました。

一日一日を大切に、皆様、ご先祖様に感謝し、これからも笑顔で健康に日々を過ごしたいと思えます。

#### 【●鳥飼京子さん】

本山研修に参加させていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。大本山總持寺二祖峨山韶碩禪師の六百五十回忌大遠忌の記念すべき年に、報恩供養、そして大祖堂にて焼香させていただいたこと、本当に身の引き締まる思いでした。

日々の生活の中で誰にでもできるちょっとした心がけ。私もできることから始めよう。そんな思いで旅が終わりました。思い出というお土産も沢山詰めて帰り、また皆さんとご一緒できたら幸いです。

(〽) 清元院だより第1号はいかがでしたか？ 自分で作成し、自分で印刷・・・思いのほか大変でしたが、このお便りのことを話題にして、そこかしこでお寺の話に花が咲けばありがたいことです。内容に関すること、お寺への要望・相談・質問等、何でもよいです。このお便りがきっかけとなって檀信徒同士、またお寺と皆さんがつながるようになることを願っております。さて第2号、何時出すかな・・・。